研究成果報告書 科学研究費助成事業



今和 6 年 6 月 1 1 日現在

機関番号: 32689

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2018~2022

課題番号: 18H00914

研究課題名(和文)応用制度設計・実験経済学・社会哲学を融合した持続的発展のための新しい会計

研究課題名 (英文) Developing Sustainability Accounting for Mature Socio-Economies Drawing upon Applied Institutional Mechanism Design and Social Philosophy

研究代表者

鈴木 智英(Suzuki, Tomo)

早稲田大学・商学学術院・教授

研究者番号:50813648

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,490,000円

研究成果の概要(和文): 成熟経済社会化の進んだ日本の経済経営政策は、未だに良好な経済成長の期待される欧米や新興国とは大きく違いうる。主要シンクタンクがこぞって長期成長率0~1%を予想し、新規エクイティファイナンスが期待されない以上、投資家の保護優遇は他のステークホールダーの付加価値の犠牲を引き起こしかねない。そこで本研究では、従来の損益計算書に代わり、付加価値分配計算書を開発し、ここでの計算を基礎とした「付加価値の適正分配経営(DS経営)」を提唱した。DS経営は「新しい資本主義」政策の中でも中心を占める分配と成長の好循環に貢献するものとして、経団連、関経連、日本生産性本部、連合などの講演等を通じて 普及が図られている。

研究成果の学術的意義や社会的意義 従来、利益最大化はそれを実現するための投資拡大に支えられて、国民経済の健全な発展に寄与するものと考えられてきた。金融商品取引法や公認会計士法が第1条で投資家の保護を目的とするのはそのためである。しかし英米や新興国と異なり構造的な成熟経済化に伴い新規エクイティファイナンスが発現しない環境で従来通りの投資家保護を進めれば、利益最大化は従業員給与や投資の削減を引き起こしかねない。そこで本研究は「損益計算書」に代わり(或いは加え)「付加価値分配計算書」を導入することで、ステークホールダー間で付加価値が適正に分配される経営を提言し、主要経済団体や労働組合での検討を通し導入が検討されるに至っている。

研究成果の概要(英文): Economic policies under mature economy can be radically different from the ones in growth economies. Unlike major Western and developing countries, Japan suffers from a structural stagnation where major think-tanks' consensus growth rate is near zero, which further undermines investors' willingness to invest. If, under this condition, the government promote investor protections in such ways Western and developing countries usually expect, the other stakeholders such as directors, workers and the government can suffer to give up their fair share of the value-added. This research proposed to develop the "Distribution Statement (of Value-added)" to supplement the traditional Profit and Loss Statement, which is hoped to promote fair distribution of value-added among major stakeholders. The proposal has been well accepted by the major economic associations such as Keidanren, Kankeiren and Rengo, which is believed to have supported Kishida Administration's New Form of Capitalism Policy.

研究分野: 経済社会制度設計

キーワード: 応用制度設計 成熟経済社会 付 クホールダー主義 経済学の哲学 付加価値の適正分配 新しい資本主義 株主第一主義 ナッジ ステー

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

財務会計学や会計・経済統計制度を概観すると、認識・測定・表示の中立性や客観性、真実性、公正性という言語が中心的な地位を占めており、いわゆる写実主義 Representationism が支配的な状況を体現している。実学としてそうした真実性を前提として現実社会の要求に応えなければならい事情は了解するものの、科学哲学の観点からは驚くべき「無垢 (naivety)」の上に存立する学術分野として揶揄されかねない。そうした伝統は、例えば a)「公正価値会計」というレトリックのもとに、実は特定のステークホールダーの便宜が優先されるような「静かな革命」を黙認しかねない(Suzuki, 2012a)。或いは b) 原発や自然環境という認識や測定が極めて困難な対象にも客観的なディスクロージャーを求めるがゆえに、説明責任の押し付け合いが観察される。更には c) 創造性や社会構築主義(Social Constructivism)の可能性を蔑ろにしてきたために学術論題の閉塞感を生み博士号学生数の減少を招くなどの弊害も懸念されてきた。

本研究の最も根本にある学術上・教育上の背景には企業経営や経済実態のアカウンティングやディスクロージャーを過度の写実主義から解放し、本来の創造性を回復することで、より良い社会や経済を構築する役割を普及・促進することにある。こうした試みは 1980 年代から国際的トップジャーナル Accounting, Organization and Society 誌等で展開されたが、論題が極めて抽象的であったり歴史的事象の分析にとどまることが多く、現代社会における意義を周知させるには至っていない。そうしたコンテキストの中、我々は社会構築学的会計の可能性を現代社会における最も緊要な課題である持続的な発展・サステナビリティとの関係で明らかにしてゆく必要を認識した。アカウンティングは経済・経営のリンガフランカとして広く受容されている分、この制度に小さな変更を加えるだけでも、全球的な変化が起こりうる、そうした可能性を追求すべく研究を始めた。

2.研究の目的

社会構築主義会計や制度設計経済学は、現実の写実よりは、望ましく新たな経済現象・制度を創造する条件や過程の解明に努める。例えば 2013 年にインドで法制化された One Additional Line (OAL) は損益計算書に「CSR 費用を追加的に 1 行表示」させるだけで、経営者、投資家、メディアのインセンティブを自律的に統制し、市場原理としてよりサステナブルな経済発展が達成される可能性を示した。これはメカニズムデザインと実験経済学を援用した斬新で効果・効率的な政策イノベーションとして国際的な注目を集めつつある。しかし、その政治的センシティビティのために公開には至らず学術的研究は今後の幅広い学際的な吟味に委ねられている。

本研究はこのような新しい発想の会計を社会哲学、フューチャー・デザイン、環境・サステナビリティ会計および現行諸制度の中で検討し、実効性ある全球的な持続的発展のためのナッジとして構築する可能性を探求した。特に、今般、新興国よりは、日本のような成熟経済社会における新たな経済・経営の運営方法に影響する新しいアカウンティングの開発に努めた。従来の通り、主として投資家の利益追求のための計算書類である「損益計算書」を中心とした経営・経済を継続したままで、成熟経済社会を迎えた日本のサステナビリティが維持されうるのか批判的に検討した。また「損益計算書」に代わる(或いは加える)べき計算書(例えば付加価値分配計算書)の開発を試み、その効果を実験やシミュレーションを用いて検討することとした。更に、そうした知見の蓄積を続けながら、実務での実装・応用に向けて準備を進めることを目標とした。

3.研究の方法

全体の流れとして、まず(1)先行研究の批判的検討と、広く関連する事象やデータの収集に努めた。コロナ禍の影響もあり国際的な調査の展開が期待されなくなったために、国内の調査に注力するようシフトした。政府・省庁・政治家に関しては自由民主党幹部の協力を取り付け内閣府、財務省、経済産業省、金融庁、厚生労働相らの職員とデータや意見の交換を進め、「失われた30年」と表現される環境の分析に努めた。企業側では関西経済連合会、経団連、日本生産性本部の協力を得て多くの企業経営者及び経営企画・財務担当者に対する聞き取り調査やアンケート調査を展開し、企業の抱える課題の取りまとめに努めた。労働者側では連合(芳野友子会長)の下で多くの大手・準大手労組において講演や勉強会を通じてデータや意見の収集を図った。公認会計士に関しては日本公認会計士協会(茂木哲也会長・手塚正彦前会長)の協力もあり同協会の研修や、大手監査法人における講演等を通じてデータや意見の収集を図った。投資家・アナリスト側に関しては公表データベースを基礎とするアンケート調査や主要証券会社の主催するセミナーや講演会を通して意見を聴取した。

(2)そうしたデータを分析した結果、国内外のマクロ的な構造変化に起因する収益停滞が続く中、コーポレートアバナンスコードの強化を通じた伝統的な利益最大化は、役員報酬や従業員給与、設備投資、研究開発投資を抑制しているとの仮説が生成され、次いで統計的な実証に向けて準備を始めた。

(3)同時に、利益最大化経営に代わる新たな経営として「付加価値の適正分配経営」が推進されるよう、ナッジとして「付加価値分配計算書」を開発しWebサイトで無料公開した(https://ds-simulator.com)。WebサイトやSNS上での周知を経て、全ての上場会社でトライアルが可能な状態にした。各企業における過去の資本政策と株価の関係を明瞭にした上で、将来の経営をシミュレーションすることでデータの蓄積に努めた。いくつかのプライム市場上場会社とは経営トップを含む役員らと実装に向けてのコンサルテーションを繰返した。上場準備中の企業の中にも株主のための利益最大化や企業価値の最大化を目的とするのではなく、付加価値の増大と適正分配を目標とすることを宣言して上場を試みる会社も現れており、こうした企業群からのデータを蓄積しつつ継続的に研究を進めている。

4. 研究成果

物理的な研究成果として、まず『成熟経済・社会の持続可能な発展のためのディスクロージャー・企業統治・市場に関する研究調査報告書 <四半期毎の開示制度の批判的検討を契機とする>』(2021年3月)が挙げられる。本研究書(一般に「関経連レポート」とか「成熟経済社会レポート」と呼ばれる)はその発表前後より現政権幹部及び官僚らから注目を集め「新しい資本主義」政策の中心である「分配政策」の基礎を構成したものと考えられている。

また政府討議資料『新しい資本主義政策(四半期開示見直し)首相補佐官 参考資料:「英国やフランスでは義務付けが廃止になった後もほとんどの企業が四半期開示を続けている」(JPX 清田瞭 CEO:日本経済新聞(2021/10/28)の報道)に関する実証(否定)』(2022年2月17日)は、前日に自由民主党企業会計小委員会に付された後、鈴木俊一財務大臣により四半期報告書の廃止の方針が発表されるに至る重要なデータとして活用された。2023年11月20日、四半期報告書の廃止を含む「金融商品取引法等の一部を改正する法律」が原案どおり成立し、2024年4月1日より施行されることとなった。四半期報告書の廃止は、短期利益最大化を戒め、付加価値の適正分配を目指し、従業員給与や研究開発投資等持続的成長のための費用負担をネガティブなニュースからポジティブなニュースへ変換する試みの一つであった。同様に、有価証券報告書に、男女賃金格差や女性管理職比率を公表する規則を実現し、女性活躍推進のナッジとしてのアカウンティングも施行した。

「関経連レポート」を機に数多くの雑誌記事や経済紙記事や書籍が発表され研究成果の周知・促進が図られた。特に、『「新しい資本主義」のアカウンティング 「利益」に囚われた成熟経済社会のアポリア』(中央経済社 2022)は、関経連レポートの内容を再検討するとともに一般市民や政治家にも分かりやすく書き直したもので、多くの経営者や労働者の支持を得ている。先のhttps://ds-simulator.com と合わせて、付加価値の適正分配経営の実装に向けてモメンタムを作り出した。2024年の春闘では例えば芳野友子連合会長も「付加価値の適正分配」をキーワードに運動を展開し、近年まれにみる高い賃上げを実現している。経団連大ホールでの講演「新しい資本主義」における経営:株主利益偏重からの脱却に向けて 適正分配経営の推進」(2023年4月25日)や関西で年次最大の経済イベント関西財界セミナーでの講演「マルチステークホルダー資本主義をふまえたコーポレートガバナンス制度のあり方」(2024年2月8日)などを通じて適正分配経営の推進と持続的成長への好循環の追求が採択されている。

全体として、研究機関5年の内に、損益計算書を基本とする「利益最大化経営」に対する危惧やそれを代替しうる付加価値分配計算書を基本とする「付加価値の適正分配経営」に関する認知度は飛躍的に改善した。これは想定以上の成果であったが、この変化は政治的・実務的な性格が強く、その持続的発展に対する影響の注意深い分析や実証は未達である。また、コロナ禍の影響を受け、20年後に成熟経済社会を迎える中国やインドにおける研究は実施不能であったので、今後こうした不足の点を補完する研究を遂行してゆく所存である。

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 】 計30件(うち査詩付論文 15件/うち国際共著 4件/うちオープンアクセス 5件)

「一根心神又」 同30件(フラ直流門神又 13件/フラ国际共有 4件/フラオーフングプセス 3件)	
1 . 著者名 スズキトモ	4 . 巻
2.論文標題 『考・新しい資本主義』 適正分配 舵を切る岸田政権	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名日刊工業新聞	6.最初と最後の頁 1-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 小井川結菜 繁田涼平 スズキトモ	4 . 巻
2.論文標題 「英国やフランスでは義務付けが廃止になった後もほとんどの企業が四半期開示を続けている」(JPX 清 田瞭 CEO:日本経済新聞(2021/10/28)の報道)に関する実証(否定)データ	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 自由民主党 金融調査会・企業会計小委員会参考資料	6 . 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 スズキトモ	4 . 巻 74巻2号
2.論文標題 「新しい資本主義」 アカウンティングと従業員の Well-Being	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 企業会計	6.最初と最後の頁 123-127
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 スズキトモ	4.巻
2.論文標題『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」賃上げへの課題①	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 日本経済新聞	6.最初と最後の頁 30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1 . 著名名 スズキトモ 2 . 論文理題 "新しい資本主義」 アカウンティングと従業員の Well-Being 3 . 組誌名 『企業会計』 第 0 . 最初と最後の頁 123-127 周載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 スズキトモ 2 . 論文理題 世別的な事情養態和・業完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 1 . 表記を表示 2 . 論文理題 日表記を表示 1 . 素記名 スズキトモ 2 . 論文理題 関本主義の标理 - 日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 1 . 素記名 スズキトモ 2 . 論文理題 「資本主義の标理 - 日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 2021年 7		
2 ・ 論文程語 「 和 し	1.著者名	4 . 巻
2 ・ 論文程語 「 和 し		
「新しい資本主義」 アカウンティングと従業員の Well-Being 2022年 3. 純紅名 ** ②企業会計a 6. 最初と最後の頁 123-127 新蔵論文の201 (デジタルオブジェクト機別子) なし 国際共著 - オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図鑑 国際共著 - 1. 著名名 スズキトモ 3. 4. 色 34 2. 論文理題 世界的な事業要動和・夢究会議争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民政経済市場」の創成 3- 参記資本学会年報 6. 最初と最後の頁 40-52 6. 最初と最後の頁 40-52 掲載論文の201 (デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが函数 8. 4. 色 35年名 スズキトモ 2. 論文模態 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 2021年 2021年 175 次の609	· · · · · · · -	
「新しい資本主義」 アカウンティングと従業員の Well-Being 2022年 3. 純紅名 ** ②企業会計a 6. 最初と最後の頁 123-127 新蔵論文の201 (デジタルオブジェクト機別子) なし 国際共著 - オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図鑑 国際共著 - 1. 著名名 スズキトモ 3. 4. 色 34 2. 論文理題 世界的な事業要動和・夢究会議争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民政経済市場」の創成 3- 参記資本学会年報 6. 最初と最後の頁 40-52 6. 最初と最後の頁 40-52 掲載論文の201 (デジタルオブジェクト機別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが函数 8. 4. 色 35年名 スズキトモ 2. 論文模態 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 2021年 2021年 175 次の609	2 参立種語	c 彩行在
3 . が該名 『企業会計 』 6 . 最初と最後の頁 123-127		
123-127 1	'新しい負本土義」 アカワンティンクと従業員の Well-Being	2022年
123-127 1		
掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし	3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし	『企業会計』	123-127
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	担耕会さのDOI / ごごカリナゴごテクト等リフト	本芸の右無
1 著名名 2 : 論文標題 2 : 記文標題 2 : 記文標題 3 : 記述 3 : 記述 4 : 差 3 : 2 : 記文標題 4 : 差 3 : 2 : 記文標題 5 : 発行年 2020年 7 : 記述 2 : 記文標題 6 : 屋切と最後の頁 40 : 52 : 記文を申録 6 : 屋切と最後の頁 40 : 52 : 2 : 記文標面 6 : 屋切と最後の頁 40 : 52 : 2 : 記文を申報 7 : 2 : 2 : 記文 5 : 発行年 2020年 7 : 2 : 2 : 2 : 2 : 2 : 2 : 2 : 2 : 2 :		
1 . 著名名	なし	無
1 . 著名名		
1. 著者名 スズキトモ 2. 論文標題 世界的な澤素要飾和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民主経済市場」の創成 3. 積誌名 会計理論学会年報 40・52 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 スズキトモ 2. 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 3. 積誌名 Nedge 3	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 スズキトモ 2. 論文標題 世界的な澤素要飾和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民主経済市場」の創成 3. 積誌名 会計理論学会年報 40・52 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 スズキトモ 2. 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づ 3. 積誌名 Nedge 3	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
スズキトモ 2 . 論文様題 セラウな単常要般和・集労全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく「民主経済市場」の創成 5 . 第行年 2020年 20		
スズキトモ 2 . 論文様題 セラウな単常要般和・集労全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく「民主経済市場」の創成 5 . 第行年 2020年 20	4 # # # #	4 74
2. 論文標題 世界的な準需要飽和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「注土経済市場」の創成 3. 雑誌名 会計理論学会年報		
世界的な準需要総和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民主経済市場」の創成 3 . 雑誌名 会計理論学会年報	スズキトモ	34
世界的な準需要総和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民主経済市場」の創成 3 . 雑誌名 会計理論学会年報		
世界的な準需要総和・準完全競争・人口減少下の上場市場制度設計:「付加価値分配計算書」に基づく 「民主経済市場」の創成 3 . 雑誌名 会計理論学会年報	2 . 論文標題	5 . 発行年
「民主経済市場」の創成 3 . 雑誌名 会計理論学会年報		
3 ・雑誌名 会計理論学会年報		2020 1
名計理論学会年報		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 3 . 雑誌名 Nedge 「デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 「経済教室」「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞 「お野論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 「お野心なの回」(デジタルオブジェクト識別子) なし 「最初と最後の頁」 30		6.最初と最後の負
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 3 . 雑誌名 Nedge 「デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 「経済教室」「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞 「お野論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 「お野心なの回」(デジタルオブジェクト識別子) なし 「最初と最後の頁」 30	会計理論学会年報	40-52
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	掲載絵文のDOI(デジタルオブジェクト幾即子)	本語の右無
### ### #############################		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 33巻2号 2. 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5. 発行年 2021年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 21・31 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 20210216 2. 論文標題 ※経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本経済新聞 6. 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 33巻2号 2. 論文標題 資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5. 発行年 2021年 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 21・31 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 20210216 2. 論文標題 ※経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本経済新聞 6. 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		
1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 33巻で号 2. 論文標題 資本主義の転機 - 日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 Wedge 6. 最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 20210216 2. 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本経済新聞 6. 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 33巻で号 2. 論文標題 資本主義の転機 - 日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 Wedge 6. 最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 1. 著者名 スズキトモ 4. 巻 20210216 2. 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 日本経済新聞 6. 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
スズキトモ 33巻2号 2.論文標題 資本主義の転機 - 日本と世界は変えられる - 従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5.発行年 2021年 3.雑誌名 Wedge 6.最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 20210216 1.著者名 スズキトモ 4.巻 20210216 2.論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5.発行年 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オーブンアクセス 国際共著	TO SECTION OF A SE	
スズキトモ 33巻2号 2.論文標題 資本主義の転機 - 日本と世界は変えられる - 従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5.発行年 2021年 3.雑誌名 Wedge 6.最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 20210216 1.著者名 スズキトモ 4.巻 20210216 2.論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5.発行年 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オーブンアクセス 国際共著	4 ****	4 1/
2 . 論文標題 資本主義の転機 - 日本と世界は変えられる - 従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 Wedge 6 . 最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 2 . 論文標題 ※経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 4 . 巻 20210216 3 . 雑誌名 日本経済新聞 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		_
資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける2021年3. 雑誌名 Wedge6.最初と最後の頁 21-31掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 4.巻 202102161. 著者名 スズキトモ4.巻 202102162. 論文標題 「経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3. 雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オーブンアクセス国際共著	ススキトモ	33巻2号
資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける2021年3. 雑誌名 Wedge6.最初と最後の頁 21-31掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 4.巻 202102161. 著者名 スズキトモ4.巻 202102162. 論文標題 「経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3. 雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オーブンアクセス国際共著		
資本主義の転機・日本と世界は変えられる・従業員・役員・再投資を優先:新しい会計でヒトを動機づける2021年3. 雑誌名 Wedge6.最初と最後の頁 21-31掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 4.巻 202102161. 著者名 スズキトモ4.巻 202102162. 論文標題 「経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3. 雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オーブンアクセス国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
ける 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 21-31	資木主義の転機 - 日木と世界けずえられる - 従業昌・役昌・再投資を優先・新しい会計でヒトを動機づ	
3 . 雑誌名 Wedge 6 . 最初と最後の頁 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		2021—
Wedge 21-31 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無無無 オープンアクセス 国際共著 - 1.著者名 スズキトモ 4.巻 20210216 2.論文標題 「分配強化へ開示改革こそ」 5.発行年 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		6 目初し目後の五
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
# 本 ・	Wedge	21-31
# 本 ・		
# 本 ・		
# 本 ・		
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし	無
1 . 著者名 スズキトモ 4 . 巻 20210216 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 日本経済新聞 6 . 最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス	無
スズキトモ202102162.論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3.雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	なし オープンアクセス	無
スズキトモ202102162.論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3.雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	なし オープンアクセス	無
2.論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」5.発行年 2021年3.雑誌名 日本経済新聞6.最初と最後の頁 30掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	無 国際共著 - 4 . 巻
『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	無 国際共著 - 4 . 巻
『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 2021年 3.雑誌名 日本経済新聞 6.最初と最後の頁 30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ	無 国際共著 - 4.巻 20210216
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 日本経済新聞 30 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ	無 国際共著 - 4.巻 20210216
日本経済新聞 30 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 20210216 5.発行年
日本経済新聞 30 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 20210216 5.発行年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 30
	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 30
	なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 30
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 スズキトモ 2 . 論文標題 『経済教室』「分配強化へ開示改革こそ」 3 . 雑誌名 日本経済新聞 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 30 査読の有無
	### おいます ### おいます ### おいます ### おいます ### おいます ### また	無 国際共著 - 4 . 巻 20210216 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 30 査読の有無

1.著者名	T . W
	4 . 巻
スズキトモ	74(2)
2.論文標題	5.発行年
「新しい資本主義」 - アカウンティングと従業員の Well-Being	2022年
•	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	123-127
<u> </u>	120 121
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
'& ∪	***
	国際共著
オープンアッセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国 你不有
ク ノンティに入りはない、 X はクーノンデン ピスが凹無	
1	
1 . 著者名	4 . 巻
スズキトモ	20211019
2 . 論文標題	5 . 発行年
『考・新しい資本主義』- 適正分配 舵を切る岸田政権	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日刊工業新聞	1-最終ページ全面
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
	////
 -プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六有
ク ファファス CIDのVi、 入IDグ フファフ CA/Ji 四世	
1 . 著者名	Λ *
	4.巻
Raja R. Timilsina, Koji Kotani, Yoshinori Nakagawa, Tatsuyoshi Saijo	2021
· 스	F 38/- F
2 . 論文標題	5.発行年
Intragenerational deliberation and intergenerational sustainability dilemma	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
European Journal of Political Economy	102131-102131
•	
闘載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	',
 -プンアクセス	国際共著
	国際共著該当する
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名	該当する 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo	該当する 4 . 巻 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo	該当する 4 . 巻 3
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2. 論文標題 Future Forebearers	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2. 論文標題 Future Forebearers	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2. 論文標題 Future Forebearers 3. 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 41-43
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2 . 論文標題 Future Forebearers 3 . 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 I . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2 . 論文標題 Future Forebearers 3 . 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 41-43
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2 . 論文標題 Future Forebearers 3 . 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 41-43
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2 . 論文標題 Future Forebearers 3 . 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 41-43 査読の有無 有
1 . 著者名 Tatsuyoshi Saijo 2 . 論文標題 Future Forebearers 3 . 雑誌名 RSA Journal	該当する 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 41-43

1.著者名	4 . 巻
Toshiaki Hiromitsu, Yoko Kitakaji, Keishiro Hara, Tatsuyoshi Saijo	2021
2.論文標題	5.発行年
What Do People Say When They Become "Future People"? Positioning Imaginary Future	2021年
Generations (IFGs) in General Rules for Good Decision Making	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainability	1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	
40	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Arpana Pandit, Yoshinori Nakagawa, Raja Rajendra Timilsina, Koji Kotani, Tatsuyoshi Saijo	2021
Arpana Fanutt, Tosimioti Nakayawa, Naja Najenuta Hillitsina, Noji Notalii, Tatsuyosii Sarjo	2021
0 40-1-1905	= 7V./= -
2.論文標題	5.発行年
Taking the Perspectives of Future Generations as an Effective Method for Achieving Sustainable	2021年
Waste Managemen't	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sustainable Production and Consumption	2021-2022
odstannable i loudetion and consumption	ZUZ 1 - ZUZZ
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセス こはない、 又はオープンアクセスが困難	談当りる
1.著者名	4 . 巻
Kokubu, K, Nishitani,K, Nguyen,T.B.H, Trinh,T.Q, d Wu,Q	12
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2021年
Are corporate environmental activities to meet sustainable development goals(SDGs) simply	20214
greenwashing? An empirical study of environmental mamagement control systems in Vietnamese	
companies from the stakeholder management perspective	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Environmental Management	1-21
	· - ·
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
コープラント こうこうじゅく へいらつ ファファ ころい 四衆	#∧ → 1 V
. ***	4 24
1.著者名	4.巻
Katsuhiko Kokubu	1
2 . 論文標題	5 . 発行年
Motivations for voluntary corporate adoption of integrated reporting : A novel context for	2021年
comparing voluntary disclosure and legitimacy theory	2021 4
	て 目知に目後の苦
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Cleaner Production	1-21
	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
 なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著名名 図面が定		T 1
	1 . 著者名	4.巻
SSS企能と地域機構共生圏・社会性評価とビジネスモデル 2021年 3. 削証名 6. 最初と最後の頁 51:55	國部克彦	50 [4]
SSS企能と地域機構共生圏・社会性評価とビジネスモデル 2021年 3. 削証名 6. 最初と最後の頁 51:55		
SSS企能と地域機構共生圏・社会性評価とビジネスモデル 2021年 3. 削証名 6. 最初と最後の頁 51:55	2	F 聚烷二年
現職論文のDDI(デジタルオブジェクト機別子)	the contract of the contract o	
接数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)	ESG金融と地域循環共生圏 - 社会性評価とビジネスモデル	2021年
接数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)		
接数論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)	つ 44社夕	6 早却レ果然の百
### おおいます 表表の		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 1 ※ 著名名 大棚智基 199 [1]	環境情報科学	51-55
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 1 ※ 著名名 大棚智基 199 [1]		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 1 ※ 著名名 大棚智基 199 [1]		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 1 ※ 著名名 大棚智基 199 [1]	担部やかのDOL / ごごクリナブご - クト 並叫フト	木柱の左無
1 ・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
***	なし	無

***	ナープンフクセフ	国際共革
		当际六名
大農智基 199 [1] 2 . 論文様題 統合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名 會計 の	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
大農智基 199 [1] 2 . 論文様題 統合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名 會計 の		
大農智基 199 [1] 2 . 論文様題 統合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名 會計 の	1 *	4 **
2. 論文標題 統合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 2. 論文標題 3. 雑誌名		
総合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名	大鹿智基	199【1】
総合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名		
総合報告における開示項目の検討・実証分析からのアプローチ・ 3 . 雑誌名	2	r
1 . 著書名 1 . 著書名 2 .		
1 . 著書名 1 . 著書名 2 .	統合報告における開示項目の検討 - 実証分析からのアプローチ -	2021年
會計 30-43 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India"s Companies Act 2013 5 . 発行年 2018年 3 . 健誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6 . 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 1 . 著者名 会計 : 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計 : 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし 無統の有無 無 毎期の有無 無 オープンアクセス 国際共著		·
會計 30-43 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India"s Companies Act 2013 5 . 発行年 2018年 3 . 健誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6 . 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 1 . 著者名 会計 : 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計 : 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし 無統の有無 無 毎期の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 http://	6 見知し目後の苦
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 信 . 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス 1 . 著者名 会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 信 . 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス 1 . 著者名 会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		30-43
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 SUZUKI Tomo 4. 巻 23 2. 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 5. 発行年 2018年 3. 辨誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6. 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童誌の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 鈴木智英 4. 巻 1 2. 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5. 発行年 2019年 3. 辨誌名 企業会計 6. 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 6. 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童詩の有無 無 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 SUZUKI Tomo 4. 巻 23 2. 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 5. 発行年 2018年 3. 辨誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6. 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童誌の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 鈴木智英 4. 巻 1 2. 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5. 発行年 2019年 3. 辨誌名 企業会計 6. 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 6. 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 童詩の有無 無 オープンアクセス 国際共著	なし,	==
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	7 6 C	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	1	FINALL ++
1. 著者名 SUZUKI Tomo 2. 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3. 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6. 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	オープンアクセス	国際共者
1. 著者名 SUZUKI Tomo 2. 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3. 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6. 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	-
SUZUKI Tomo 23 2 . 論文標題	3 22 2 CHOOK I MIND 22 2 CHO HAVE	
SUZUKI Tomo 23 2 . 論文標題		
2 . 論文標題		
2 . 論文標題	1.著者名	4.2
### One Additional Line		
### One Additional Line		
A Case from India's Companies Act 2013 3.雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1.著者名 鈴木智英 2.論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3.雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 4.巻 1 5.発行年 2019年 4.最初と最後の頁 97-105	SUZUKI Tomo	23
A Case from India's Companies Act 2013 3.雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1.著者名 鈴木智英 2.論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3.雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 4.巻 1 5.発行年 2019年 4.最初と最後の頁 97-105	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 6 . 最初と最後の頁 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	5 . 発行年
TRENDS IN THE SCIENCES 52-55 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 .論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development:	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス コ際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013	23 5.発行年 2018年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス コ際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名	23 5.発行年 2018年
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 鈴木智英 4.巻 1 2.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の経済社会のアカウンティング 5.発行年 2019年 3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 鈴木智英 4.巻 1 2.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の経済社会のアカウンティング 5.発行年 2019年 3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1.著者名 鈴木智英 4.巻 1 2.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の経済社会のアカウンティング 5.発行年 2019年 3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
1 . 著者名 鈴木智英 4 . 巻 1 2 . 論文標題 幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 企業会計 6 . 最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
鈴木智英12.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング5.発行年 2019年3.雑誌名 企業会計6.最初と最後の頁 97-105掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
鈴木智英12.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング5.発行年 2019年3.雑誌名 企業会計6.最初と最後の頁 97-105掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無
2.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の経済社会のアカウンティング 5.発行年 2019年 3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の経済社会のアカウンティング 5.発行年 2019年 3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著
幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング2019年3.雑誌名 企業会計6.最初と最後の頁 97-105掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著
幸福と会計: 準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング2019年3.雑誌名 企業会計6.最初と最後の頁 97-105掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 企業会計 6.最初と最後の頁 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1
企業会計 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1
企業会計 97-105 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし 無	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし 無	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし 無	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
オープンアクセス 国際共著	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105
	SUZUKI Tomo 2 . 論文標題 "One Additional Line" as Nudge of Institutional Mechanism Design for Sustainable Development: A Case from India's Companies Act 2013 3 . 雑誌名 TRENDS IN THE SCIENCES 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鈴木智英 2 . 論文標題 幸福と会計:準需要飽和・準完全競争下の 経済 社会のアカウンティング 3 . 雑誌名 企業会計 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	23 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-55 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 97-105

1.著者名	4 . 巻
鈴木智英	78
2.論文標題	5.発行年
·····	
書評 國部克彦著 『アカウンタビリティから経営倫理へー経済を超えるためにー」	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
産業経理	114-115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無 無
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
伊藤邦雄・鈴木智英	70
2.論文標題	5.発行年
The End of Accounting「会計の再生」は可能か	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
・ 飛動性 ・ 企業会計	17-39
프 <u></u> 주스위	17-55
	 査読の有無
司取品文のDOT (アクタルタフグエク下級加丁) なし	直続の行無 無
·6 U	~~
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
・・ 自自口 - 西條辰義	11
2 . 論文標題	5.発行年
フューチャー・デザイン 持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
環境経済・政策研究	29-42
THE PROPERTY OF THE PROPERTY O	25 .2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
可取論文のDOT(ナンタルタフジェクト部が丁) なし	直続の行無
·6·U	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 西條辰義	4.巻 49
西條辰義	49
西條辰義 2 . 論文標題	5 . 発行年
西條辰義	49
西條辰義 2.論文標題 フューチャー・デザイン:持続可能な未来社会の設計	5.発行年 2018年
西條辰義 2 . 論文標題 フューチャー・デザイン:持続可能な未来社会の設計	5 . 発行年
西條辰義 2 . 論文標題 フューチャー・デザイン: 持続可能な未来社会の設計 3 . 雑誌名	49 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
西條辰義 2. 論文標題 フューチャー・デザイン:持続可能な未来社会の設計 3. 雑誌名 環境会議	49 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
西條辰義 2. 論文標題 フューチャー・デザイン:持続可能な未来社会の設計 3. 雑誌名 環境会議	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 168-173
2 . 論文標題 フューチャー・デザイン: 持続可能な未来社会の設計 3 . 雑誌名 環境会議 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	49 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 168-173 査読の有無

1.著者名 Yoshinori Nakagawa, Koji Kotani, Mika Matsumoto, and Tatsuyoshi Saijo	
Vachinari Nekagawa Kaji Katani Nika Nataumata and Tatauwashi Cajia	4 . 巻
TOSHIHOTI NAKADAWA. KOTI KOTANI. WIKA MATSUMOTO. AND TATSUVOSHI SATIO	105
,	
2.論文標題	5 . 発行年
Intergenerational retrospective viewpoints and individual policy preferences for future: A	2019年
deliberative experiment for forest management	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Futures	40-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	4 **
1.著者名	4 . 巻
國部克彦	217
2 . 論文標題	5 . 発行年
「会計と正義を論じる理論的根拠ーデリタ、ラトゥール/カロン、ロールズの位置づけー」	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** **= * *	
国民経済雑誌	1-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 プングラと人ではない、人は3 プングラとスカ田県	
1.著者名	4 . 巻
Kokubu, K. & Mohammad Tazul Islam	14
······································	
o	г 36/- <i>-</i>
2.論文標題	5 . 発行年
	5 . 発行年 2018年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking : a longitudinal study in the developing	
"Corporate social reporting and legitimacy in banking : a longitudinal study in the developing country	2018年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking : a longitudinal study in the developing country	2018年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal	2018年 6 . 最初と最後の頁 159-179
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal	2018年 6 . 最初と最後の頁 159-179
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3. 雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tomoki Oshika 2. 論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3 . 雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tomoki Oshika 2 . 論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3 . 雑誌名 International Review of Business	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1-18
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3 . 雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tomoki Oshika 2 . 論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3 . 雑誌名 International Review of Business	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3.雑誌名 International Review of Business	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1-18
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3 . 雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tomoki Oshika 2 . 論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3 . 雑誌名 International Review of Business	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1-18
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3.雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tomoki Oshika 2.論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3.雑誌名 International Review of Business 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1-18
"Corporate social reporting and legitimacy in banking: a longitudinal study in the developing country 3 . 雑誌名 Social Responsibility Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著者名 Tomoki Oshika 2 . 論文標題 Financial KPIs for Sustainability: Evidence from Japanese Long-lived Firms 3 . 雑誌名 International Review of Business	2018年 6.最初と最後の頁 159-179 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1-18

1.著者名	4 . 巻
Saijyo, Tatsuyoshi	12
2.論文標題	5.発行年
Futurability, Survivability, and the Non-Steady State in the Intergenerational Sustainability	2024年
Dilemma	20244
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Politics and Governance	1-12
担事込みの201 / プジタリナブジーター効果フン	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
國部克彦	37
2.論文標題	5 . 発行年
レスポンシビリティの会計学 - 会計で世界を変えるには -	2023年
2 Au Control	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	3 - 12
ム川・生師テム〒HX	3 - 12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
はし	
40	無
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
C. V. A. TV. TV. C.	
[学会発表] 計40件(うち招待講演 35件/うち国際学会 3件)	
1.発表者名	
スズキトモ	
2.発表標題	
今後の資本主義の在り方: 付加価値を適正分配する制度設計	
3.学会等名	
経済同友会(招待講演)	
4.発表年	
2021年	
1. 発表者名	
スズキトモ	
2.発表標題	
2 · 元代信息 成熟経済社会の経営-経済 制度設計 「公正な分配を可能とする企業会計の在り方」	
1	

3.学会等名 ワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議(招待講演)

4.発表年 2021年

1.発表者名
スズキトモ
2 及主播版
2 . 発表標題 「剰余金」と「自己株買い」の規制に関する検討
3.学会等名
日本型資本主義研究会 (内閣府・内閣総理大臣補佐官担当)(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
スズキトモ
2 . 発表標題 「付加価値の最適な分配の実現と経済政策」
3.学会等名 日本生産性本部(招待講演)
4.発表年
2021年
1.発表者名
スズキトモ
2.発表標題
成熟経済社会の経営-経済政策
3 . 学会等名 大和証券セミナー(招待講演)
4. 発表年
2022年
1 . 発表者名 スズキトモ
2.発表標題
金融商品取引法第24条の4の7及び関連府令等の改正に向けて
3.学会等名 自由民主党日本型資本主義の勉強会(招待講演)
4 . 発表年
2021年

1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 「成熟経済・社会の持続可能な発展のためのディスクロージャー・企業統治・市場のあり方(関経連2020年度委託研究報告)
3 . 学会等名 関西経済連合会 企業会計に関する研究会(招待講演)
4.発表年 2021年
1.発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 新しい資本主義実現会議 原因分析:『資本市場の逆機能の20年』
3.学会等名 内閣府(官邸)(招待講演)
4.発表年 2021年~2022年
1 . 発表者名 スズキトモ
2.発表標題 新しい資本主義実現会議 解決政策:『適正分配と好循環による成長戦略』
3.学会等名 内閣府(官邸)(招待講演)
4 . 発表年 2021年~2022年
1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 企業情報ディスクロージャー に関する提言
3.学会等名 自由民主党 日本 Well-being 計画推進特命委員会(招待講演)
4.発表年 2022年

1.発表者名
スズキトモ
2.発表標題
2.光衣標題 具体的な付加価値の「分配」の制度設計 所得倍増へ向けて
3. 学会等名
関西経済連合会(招待講演)
4.発表年
2021年
1.発表者名
スズキトモ
2.光な標題 『新しい資本主義』における 『分配』と従業員の『幸福』
3.学会等名
公益財団法人 日本生産性本部(招待講演)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
大鹿智基
従業員への付加価値分配とサステナビリティ
3.学会等名 日本経済会計学会(招待講演)
口平經濟云計子云(指付确澳)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
Tomoki Oshika
Does Tax Avoidance Diminish Sustainability?
3.学会等名 European Accounting Association 41st Annual Congress (国際学会)
4.発表年
2018年

1.発表者名
Katsuhiko Kokubu
2.発表標題
Rescuing "fairness" from fair value accounting through the Rawlsian perspective
3
3.学会等名
American Accounting Association 2018 Annual Congress Washington DC(国際学会)
2018年
4 75 = 3.0
1. 発表者名
Katsuhiko Kokubu
2.発表標題
2 . সংখ্যান্ত আ Rescuing "fairness" from fair value accounting through the Rawlsian perspective
Rescuring Tarriess Troil Tarr varue accounting through the Nawrstan perspective
3. 学会等名
13th World Congress of Accounting Educators and Researchers (The University of Sydney)(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
スズキトモ
2.発表標題
新しい資本主義における経営~株主利益偏重からの脱却に向けて
3.学会等名
日本経済団体連合会 大ホール講演(招待講演)
4. 発表年
2023年
1. 発表者名
スズキトモ
2.発表標題
『新しい資本主義』政策と経営 <付加価値の適正分配を通じていかに人材確保し成長するか>:中堅・中小企業へのインプリケーション
3.学会等名
COLUMN TO SEE A MILLI MILLY
4 . 発表年
2023年
•

1.発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 「新しい資本主義」政策:付加価値の適正分配経営 いかにWorking Worldの改善に貢献できるか
3.学会等名 EY JAPAN 年次総会(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 『新しい資本主義』政策: 付加価値の適正分配経営 <日本企業・経営に資する監査やコンサルに向けて>
3 . 学会等名 デロイトトーマツ(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
2.発表標題 「新しい資本主義」とは何か 適正分配経営で賃金とwell-beingを改善する
3.学会等名 全電線トップセミナー(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 「新しい資本主義」とは何か 適正分配経営で賃金とwell-beingを改善する
3.学会等名 損保労連セミナー(招待講演)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 「新しい資本主義」とは何か 適正分配経営で賃金とwell-beingを改善する
3.学会等名 東北電力総連 新春労使トップセミナー(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 「新しい資本主義のアカウンティング」付加価値の適正分配経営の促進
3.学会等名 あずさ監査法人研修(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 スズキトモ
2.発表標題 成熟経済下の資本主義とこれからの経営の在り方
3 . 学会等名 関西経済連合会東京シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 『新しい資本主義』のコーポレートガバナンス:付加価値の適正分配経営の必要性
3. 学会等名 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(招待講演)
4 . 発表年 2024年

1 . 発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 ウェルビーイング促進の基礎としての 付加価値の適正分配経営 「利益」から「付加価値」へ
3 . 学会等名 ウェルビーイング学会学術集会 基調講演(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 持続可能な成長をもたらす付加価値の適正分配経営
3 . 学会等名 日本会計教育研修機構 基調講演(招待講演)
4 . 発表年 2024年
1 . 発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 「新しい資本主義」とウェルビーイング推進 付加価値の適正分配政策と従業員持ち株制度
3 . 学会等名 自由民主党日本Well-being計画推進特別委員会(招待講演)
4.発表年 2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 新しい資本主義における経営: 株主利益偏重からの脱却に向けて
3 . 学会等名 東京海上日動火災保険株式会社(招待講演)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 新しい資本主義における経営: 株主利益偏重からの脱却に向けて
2 24 6 75 7
3.学会等名 三井不動産(招待講演)
4.発表年
2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
7 - TV - 1 T D T
2 . 発表標題 『新しい資本主義』下の経営: 中堅・中小企業へのインプリケーション ー
3.学会等名
3.字云寺名 日刊工業新聞社(招待講演)
4 . 発表年
2023年
1.発表者名 スズキトモ
2 . 発表標題 『新しい資本主義の下の適正分配経営: 公認会計士の役割』
0 WAMA
3.学会等名 日本公認会計士協会 組織内会計士研修会(招待講演)
4.発表年
2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
2. 発表標題
新しい資本主義の下の 適正分配経営(DS経営)の推進
2
3 . 学会等名 大和証券セミナー(招待講演)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名
1.光衣有名 スズキトモ
新しい資本主義の下の 適正分配経営(DS経営)による 賃金とWell-beingの改善 新しいコーポレートガバナンス改革に向けて
3.学会等名
JAM(招待講演)
2023年
1
1.発表者名 スズキトモ
『新しい資本主義』政策下の DS経営(適正分配経営)による 賃金とWell-beingの改善
3 . 学会等名
JEC連合(招待講演)
2023年
1 . 発表者名 スズキトモ
『新しい資本主義』下の 適正分配経営(DS経営)による 賃金とWell-beingの改善
3 . 学会等名
UAゼンセン(招待講演)
4.発表年
2023年
1.発表者名 スズキトモ
AATI L
2.発表標題
マルチステークホールダー資本主義を踏まえたコーポレートガバナンス制度の在り方
3.学会等名
関西財界セミナー(経済同友会・関西経済連合会)(招待講演)
4 · 光农中 2024年

1.発表者名 大鹿智基	
2.発表標題 研究グループ「非財務情報の開示と企業価値」中間報告	
3.学会等名 国際会計研究学会第40回研究大会	
4.発表年 2023年	
1.発表者名 大鹿智基	
2 . 発表標題 非財務情報と株式時価総額 - なぜ今ESG投資なのか -	
3. 学会等名 早稲田大学産業経営研究所	
4 . 発表年 2023年	
〔図書〕 計5件	
1.著者名 スズキトモ	4 . 発行年 2021年
2. 出版社 関西経済連合会	5.総ページ数 315
3.書名 公益社団法人 関西経済連合会 委託研究 『成熟経済・社会の持続可能な発展のためのディスクロージャー・企業統治・市場に関する研究調査報告書 <四半期毎の開示制度の批判的検討を契機とする>』	
1.著者名 スズキトモ	4 . 発行年 2022年
2.出版社中央経済社	5.総ページ数 271
3.書名 新しい資本主義のアカウンティング;「利益」成熟経済社会のアポリア(近刊)	

1.著者名 國部克彦、中嶌道靖	4 . 発行年 2018年
2.出版社 同文舘出版	5.総ページ数 320
3.書名マテリアルフローコスト会計の理論と実践	,
1.著者名 大鹿智基	4 . 発行年 2023年
2.出版社中央経済社	5.総ページ数 271
3.書名 非財務情報の意思決定有用性: 情報利用者による企業価値とサステナビリティの評価	
1.著者名 國部克彦	4 . 発行年 2023年
2 . 出版社 ミネルヴァ	5.総ページ数 206
3.書名 企業の社会的責任の展開 - レスポンシビリティを組み込むために 責任という倫理 - 不安の時代に問う一	
〔産業財産権〕	
DS経営シミュレーター https://DS-simulator.com DSシミュレーター https://ds.allianceforum.org/ Yuri Biondi https://www.waseda.jp/inst/wias/other/2015/04/01/779/	

6.研究組織

_	・ WI フ L N L I N L N L N L N L N L N L N L N L		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	大鹿 智基	早稲田大学・商学学術院・教授	Empilical data and analyses
研究分担者	(Oshika Tomoki)		
	(90329160)	(32689)	
	西條 辰義	高知工科大学・経済・マネジメント学群・特任教授	Philosophy of Future Design
研究分担者	(Saijyo Tatsuyoshi)		
	(20205628)	(26402)	
研究分担者	國部 克彦 (Kokubu Katsuhiko)	神戸大学・経営学研究科・教授	Philosophy of Accounting
	(70225407)	(14501)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------